



No.848

放つ矢に、
天の恵みを願って――

3月号の主な掲載記事

- ☑ 令和8年の箕岳白山祭 P.2
- ☑ 転出時の届出をお忘れなく P.4



宮城県重要無形民俗文化財
こんぼうじしやうがつぎやうじ
 籠峯寺正月行事
ののだけはくさんさい
 籠岳白山祭



約700年の歴史を持つ籠岳白山祭

1月25日(日)に、ごこくほうじやう五穀豊穰の作神さまとしてほくさんだいごんげん白山大権現・じゅういちめんくわんおんぼさつ十一面観音菩薩を祀る籠岳山籠峯寺で、約700年にわたって受け継がれ、宮城県重要無形民俗文化財に指定されている籠岳白山祭のクライマックスの神事、御弓神事が執り行われました。御弓神事は、華やかな衣装を着た2人のお稚見さんが、籠峯寺の僧侶を介添えに、1人6本ずつ合計12本の矢を、裏に鬼と書かれた的を目標けて放ち、その当たり具合で1年の天候を占います。古来より農業が盛んで、世界農業遺産に認定されている大崎耕土を有する大崎地方では、作柄に大きく影響する天候を占うこの神事は、重要な意味を持つ行事とされてきました。

矢が的の上方に外れれば大風、下に外れれば地震に注意と言われており、下方に外れた令和4年の3月には最大震度6強の福島県沖地震が発生し、すべて矢が的中した令和6年は宮城県の作況指数が全国1位に。令和7年もすべて矢が的中しましたが、天気が良すぎたため県内では水不足が発生しました。近年、よく当たっている御弓神事。令和8年は、どのように占われたのでしょうか。

12本中8本の矢が的中 年間通して天候は順当、米は豊作に期待

今回、弓矢を射るお稚児さんは、大和田周佑くん(4歳・箕岳区・北谷)と伊藤蓮くん(2歳・加美町・南谷)の2人です。

緊張感が漂う中、観衆に見つめられながらお稚児さんが放った12本の矢は、8本(1月・3月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月)が的中。序盤は緊張のためか矢が外れる場面も見られましたが、終盤にかけて次々と的中させました。この結果について中之坊住職の末永郁雄氏は、「天候は、1年を通して順当と出ている。1月から3月は風雪が吹いて雪解けが遅れ、夏は例年のように暑くなるかもしれないが、8月から10月は稲作にとって良い乾燥具合となり、お米は豊作となる見通し。ただ、夏には雨が多くなり洪水が心配されるので、水の管理に注意が必要。お米のほかに、小麦は非常に良い出来栄となり、野菜も上作が期待できる」と、1月3日の元三会で行われた作試しのおみくじの結果とあわせて占われました。

また、各宿坊では、コロナ禍で途絶えてしまいがちになった、信徒の皆さんへのおもてなし・精進料理のお振る舞いも、持続可能な在り方でよみがえりつつあります。涌谷町の地に伝わる、歴史ある箕峯寺の伝統文化は、こうした温かなおもてなしの心とともに、今も息づいています。



⑥



⑦



⑨



⑧

《写真解説》

①観衆が注目する中、裏に鬼と書かれた的に向けて弓を射る②お守役の父親に背負われ、緊張した面持ちで白山堂前へ③的と弓を先頭にした一行が石段を進む④昨年に引き続きオシトギアゲを務めた中澤涼太くん(太田区)と村上大和くん(太田区)⑤介添え役の僧侶や役員の方々に見守られながら矢をかまえる⑥真剣なまなざしで狙いを定めるお稚児さん⑦特別な装飾が施された観音堂内で最後の読経⑧大役を終え、安堵感から笑みがこぼれる⑨御弓神事の終了を告げる梵鐘が鳴り響く⑩中之坊で振る舞われた滋味深い精進料理



⑩

年金の届出もお忘れなく

年金の加入者は職業などによって3つの種別に分かれており、種別が変わるときは届出が必要になります。春は、就職・転職・進学など異動の多い季節です。何かとあわただしくなり、届出を忘れがちです。早めに届出をしましょう。

種別	こんなとき	届出先
第1号被保険者 (自営業者、学生、フリーターなど)	就職して、厚生年金や共済組合に加入したとき	勤務先
	第2号被保険者である配偶者の扶養に入ったとき	配偶者の勤務先
第2号被保険者 (会社員や公務員など)	退職したとき	お住まいの市区町村年金係
	退職して第2号被保険者である配偶者の扶養に入ったとき	配偶者の勤務先
第3号被保険者 (第2号被保険者である配偶者に扶養されている人)	収入が増えるなどして扶養から外れたとき	お住まいの市区町村年金係
	第2号被保険者である配偶者が65歳になったとき	
	就職して厚生年金や共済組合に加入したとき	勤務先
	第2号被保険者である扶養している配偶者の会社が変わったとき(例：転職など)	配偶者の勤務先

【問い合わせ先】 町民生活課町民生活班 ☎43-2113
ねんきんダイヤル ☎0570-05-1165

転出届はマイナポータルからも可能に

マイナンバーカードの所有者は、来庁せずにマイナポータルからオンラインでも転出の届出が可能です。詳細は、デジタル庁ホームページをご覧ください。

なお、マイナポータルで転出届を提出した後は、別途転入先市町村の窓口で転入届などの手続きが必要です。



マイナポータル
二次元コード



転出される皆さまへ

春は就職や転勤、進学などでお住まいを異動する人が多い季節です。転出する際に必要な手続きをお知らせします。転出先の住所が決まり次第、お早めに手続きをお願いします。

転出届(涌谷町での手続き)	転入届(新しい住所地での手続き)
<p>新しい住所が決まり次第、転出届出をしてください。転出証明書を発行します。同一世帯の人であれば手続きができます。それ以外の方が手続きをする場合は、委任状が必要です。</p> <p>【必要なもの】本人確認書類(マイナンバーカード、運転免許証など)</p> <p>※受付時間は平日8時30分から17時まで</p>	<p>新しい住まいに住み始めた日から、14日以内に新しい住所地の市区町村窓口で転入届出をしてください。</p>

転出届出をするほか、該当する場合は下記の手続きが必要です。

項目	涌谷町での手続き
印鑑登録	転出予定日に廃止されます。印鑑登録証(カード)をお返してください。
マイナンバーカード	手続きはありません。 新しい住所地で手続きがあります。
国民健康保険	国民健康保険の脱退手続きを行う必要があります。転出届出時に、資格確認書などはお返してください。保険税の過不足は後日連絡します。
国民年金	手続きはありません。海外へ転出の場合で、任意加入をする人は、町民生活班で手続きがあります。
後期高齢者医療	資格確認書などはお返してください。県外へ転出の場合は、健康課国保介護班で負担区分証明書を取得してください。保険料の過不足は後日連絡します。
介護保険	保険証などはお返してください。要介護認定などを受けている場合は、健康課国保介護班で手続きがあります。保険料の過不足は後日連絡します。
こども医療	子育て支援課で、返納届の手続き(受給者証持参)があります。新住所地での手続きに「所得課税証明書」が必要な場合がありますので、転出先でご確認ください。
母子・父子家庭医療	
心身障害者医療	福祉課福祉班で、返納届の手続き(受給者証)があります。新住所地での手続きに「所得課税証明書」が必要な場合がありますので、転出先でご確認ください。
児童手当	子育て支援課で、消滅届の手続きがあります。新住所地での手続きに「所得課税証明書」が必要な場合がありますので、転出先でご確認ください。
義務教育の児童・生徒	現在通う学校から、在学証明書と教科用図書給与証明書をお受け取りください。新住所地の教育委員会で手続きがあります。引き続き当町の学校に就学を希望する場合は教育委員会教育総務課で手続きがあります。
125cc以下のバイク 小型特殊	税務課税務班で廃車手続きをしてください。ナンバープレート、標識交付証明書、本人確認書類を持参してください。
上下水道	水道を止めたい日の3日前(土日祝日を除く)までに電子申請または上下水道課で手続きをお願いします。

【転出届出に関する問い合わせ先】 町民生活課総合窓口班 ☎43-2113



多年にわたるボランティア活動が評価 さくらグループが厚生労働大臣表彰を受賞

11月12日(水)に、町内で活動するボランティア団体のさくらグループが、多年にわたりボランティア活動を実践し共に支えあう地域社会づくりに貢献したとして、厚生労働大臣表彰を受賞しました。

さくらグループは、昭和60年4月から、涌谷町社会福祉協議会が主催する高齢者向けサロン事業のさくら会の給食ボランティアとして活動を開始。現在は、さくら会全体の企画運営を行い、一人暮らしの高齢者の生きがい創出に大きく寄与しています。



涌谷高校美術部が活躍 丹野勇輝さんが最優秀ポスター賞を受賞

1月24日(土)から28日(水)の期間で、せんだいメディアテークで開催された第78回宮城県高等学校美術展を告知するポスター部門に、涌谷高校美術部3年の丹野勇輝さんが出品し、最高賞の最優秀ポスター賞を受賞しました。

今回のポスター部門には県内から266点の作品が出品。普段の活動場所となっている第2美術室を舞台に、涌谷高校美術部の生徒が作品制作に挑む日々の日常風景を切り取るような構図で、4カ月の制作期間を経て完成しました。



空き家問題解消・移住促進・関係人口創出に向けて 空き家対策の推進にかかわる協定を締結

1月30日(金)に、涌谷町内の空き家の適正な管理および利活用の推進に向けて、株式会社AlbaLink・株式会社ネクスウィルと空き家対策の推進にかかわる連携協定を締結しました。

訳ありとなっている物件などを買い取り、または有料で引き取りし、再生・再流通させる事業を全国的に展開する2社と連携することで、涌谷町が抱える空き家問題の解消と、関係人口創出・移住促進につなげてまいります。



自治会の中心として多年にわたり活動 新丁頭振友会が創立70周年

1月25日(日)に、新丁頭公会堂で、自治会の中心を担ってきた新丁頭振友会が創立70周年を迎えたことを記念した祝賀会が開かれました。

これまでの新丁頭振友会では、昭和35年に涌谷神社の鳥居用に大しめ縄を奉納したことをはじめ、地域環境の美化や用排水路の保全などを担ってきたほか、自治会の防災班に全員が所属し地域防災力の要として活動してきました。祝賀会では、創立80周年に向け、親睦を温めました。



地域農業を支える新たな体制づくり 土地改良区の合併推進協議会設立総会を開催

令和7年12月24日(水)に、涌谷公民館で、涌谷町土地改良区・旧迫川右岸土地改良区合併推進協議会設立総会が開催されました。

当協議会は、令和9年4月の合併認可を目指して、取り組んでいきます。



JR石巻線沿線に広がる歓迎の輪 観光列車だてSATONOのお出迎えを実施

2月1日(日)に、JR涌谷駅で、同日から3月31日(火)まで運行するJR東日本の観光列車だてSATONOを出迎えるおもてなし企画が実施されました。参加者は天平衣装や涌谷町PR法被を着てお手振りをして出迎えました。

2月2日(月)には、JR石巻線沿線の涌谷南幼稚園で、町立幼稚園・こども園の統合・閉園を記念したお手振りを実施。JR東日本協力のもと、だてSATONOも減速し、集まった園児たちに向けて車掌や乗客からお手振り返しがあり、心温まるひとときとなりました。



農業をテーマに涌谷町の魅力を発信 みやぎ県北セブン移住相談会に参加

2月11日(水)に、東京都中央区の移住・交流情報ガーデンで、宮城県北地域の3市4町が連携した、みやぎ県北セブンによる移住相談会が実施され、涌谷町も町の魅力を来場者にPRしました。

農業をテーマに開催した今回の相談会には18人が参加。PRタイムやクイズ企画では、涌谷町ブランド米の金のいぶきをはじめとした特産物や、日本初の産金地にちなみ展開している黄金食財の取り組みなどを紹介しました。



こうつうルールをまもりませ 今年度最後のこじかクラブ交通教室

2月上旬に、涌谷町内の幼稚園・保育園・こども園で、交通安全・交通ルールを学ぶ今年度最後のこじかクラブ交通教室が開かれました。

交通教室では、ブレイメンの音楽隊を題材にした紙芝居で、これまで学んできた横断歩道の渡り方や信号の色の意味など4つ約束事をおさらいしました。その後、年長児の皆さんには、こじかクラブ交通教室の修了証書と交通安全指導員手作りの警察手帳・帽子が贈られました。